AISEI-NEWS

54 愛整ニュース

平成28年

公益社団法人
愛知県柔道整復師会
http://shadan-aisei.jp/

2016年9月28日発行（通巻341号）

整復技術の研鑽と医科との連携強化を

柔整療養費改定

10月1日より柔道整復療養費が改定される。厚労省の基本的な考え方として、「適正な請求を行う施術者が正当な評価をされるよう、整復料にウエイトを置いた改定」を掲げている。骨折と脱臼に対する整復料や後療料を手厚くすることで、柔道整復師（ほねつぎ）本来の業務の充実を図ることを業界に求めているといえる。そのため骨折・脱臼の整復料がおよそ27%から28%、後療料がともに約28%と大幅アップの改定となった。整復技術の研鑽と近隣医科との連携強化がより一層大切となる。

また初検料が10円、冷罨法料が5円引き上げとなり、全体で0.28%（医科0.56%の半分）のアップとなる。

保険者からは、不正請求が相次ぐため、むしろマイナス改定すべきだとの強い意向もあったと聞く。しかし日整の努力もあり、逓減条件変更などの付帯事項も全くない今回の改定となった。

Welcome!! 新入会員

氏　名	近藤啓介	岡田大典
生年月日	H1.7.10	S57.6.23
支　部	笠寺	中村
出身校	米田柔整	米田柔整
段　位	―	2級
趣　味	野球・ゴルフ	ゴルフ

近藤啓介会員

岡田大典会員→

会員31名が各地の防災訓練で活動

自治体との災害救護協定に基づき、8月28日と9月4日の両日、会員が各地で行われた防災訓練に参加した。新しく5月に防災協定を結んだ尾張旭市では大曽根支部会員が初めて訓練に参加するなど、残暑がまだまだ厳しいなか、のべ31名が汗まみれになりながら精力的に活動した。

8月28日（日）

県・岡崎市

早朝6時30分より、愛知県・岡崎市総合防災訓練に参加した。岡崎支部は5年前に本会と市が防災協定結んで以来、毎年訓練に参加してきたが、今年度は県の事業として大規模に実施された。岡崎市中央総合公園など3カ所に、総参加人数約3,000人超が集まり、我々は愛整会より4名、支部会員8名の合計12名にて岡崎市立根石小学校「避難所開設運営訓練会場」で活動した。

頭頸部班、上肢班、下肢班の3班に分かれて実践指導を行なった。はじめに柔道整復師の施術所では、シーネや包帯を使い、急性外傷に対する施術を行っていることを説明。上下肢の外傷、頭頸部損傷について十分に説明し、緊急時には新聞紙やビニール袋、サランラップなど家庭にある身近な物を使った患部の固定方法や、その後の管理指導、また簡易担架の作成から患者の運搬方法を指導し、実際に参加者に体験してもらった。

（報告　岡崎支部・青山由裕）

尾張旭市

午前8時から午前11時30分まで、「平成28年度尾張旭市総合防災訓練」が開催された。協定締結後初めての事業となった。尾張旭市立三郷小学校のグラウンドを訓練会場に本会含め37機関参加のもと実施され、大曽根支部から5名が参加した。

訓練はグループ制で行われ、市民・防災関係機関職員・市職員らで構成された1グループ8～10名に振り分けた5グループが、各訓練や展示ブースを30分間ごとにローテーションで回った。我々は屋外テント展示ブースで、この5グループや尾張旭市少年少女消防団員ら80名あまりに対して、市からの要請に従い、熊本地震でも問題になった「エコノミークラス症候群」の対策啓発活動として、「転倒予防教室」などで我々が行ってきた下肢の機能向上訓練の資料等を参考にして、ポスター発表形式で講義を行った。

子どものうちから防災や減災に意識を向けておくことが重要との主催者の趣意に基づき、子どもでも参加・体験できる防災訓練として工夫されていた。

初参加の尾張旭市の訓練は手探り状態であった。子どもも主体的に楽しく参加できるプログラムを用意する必要性や、参加者への対応・説明方法などいくつかの課題が考えられた。来年以降は課題を活かせるように準備・活動していきたい。

（報告　大曽根支部広報・横井達典）

9月4日（日）

今年度のなごや市民総ぐるみ防災訓練は、守山区と南区が重点区に指定された。両区に本会と各支部から総勢10名が参加した。

守山区

名古屋市立志段味東小学校5年生を対象とし、9時35分から10時15分まで、会員5名で地震などの急な災害時に身近な物を使って出来る応急処置法を実施した。

ラップを使った出血部位への直接圧迫止血法や、前腕部骨折を想定しスーパーのレジ袋を三角巾にした提肘法、雑誌新聞等を副木とした固定法、シーツを担架としたケガ人の搬送方法などを実践指導した。児童はみんな真剣に話を聞き、こちらが指名するのが大変なくらい積極的に実技に参加してくれた。　（報告　大曽根支部・呉　音）

南区

柴田小学校と白水公園において午前8時から11時30分まで、南海トラフ巨大地震で家屋が倒壊し多数の死傷者が発生、大津波警報が発令されたことを想定し訓練が行われた。

本会より5名が参加し柴田小体育館にて応急救護講習を行った。上下肢外傷の応急処置として、レジ袋の三角巾、梱包用ラップ、新聞紙、ダンボール、雑誌、ペットボトルを使った各関節の固定法と、担架代わりのシーツによる搬送法を参加者に体験してもらいながら説明した。膝と足首の固定を体験した女性は固定力の強さにびっくりされていた。　（報告　笠寺支部広報・山口敬史）

天白区

支部会員4名が、21機関とともに参加。会場の八事東小学校グラウンドにブースを設置し、9時30分から10時15分頃まで模擬患者90名に、前腕骨や下腿骨骨折を想定して日用品による応急処置法を3回に分けて行った。　（報告　鶴舞支部・丸谷康男）

防災訓練参加者　（敬称略・順不同、＊は本会役員・事業部員・災害対策委員）

【愛知県・岡崎市】藤川和秀*／小林弘治*／筧 芳幸*／河合一弘*／石川益郎／大竹康範
黒瀬広幸*／山﨑達也／黄原永治／野村将之／青山由裕／野村秀仁
【尾張旭市】濵　巧／小林弘治*／小平真司／安達忠弘／横井達典
【名古屋市守山区】長谷川貴一*／井上哲三*／濵　巧／西田洋平／呉　音
【名古屋市南区】藤川和秀*／小林弘治*／倉橋健司／矢野康治*／山口敬史
【名古屋市天白区】松浦洋雅*／丸谷康男／山本 篤／吉田良樹

2会員 名古屋市体育功労者表彰を受ける

8月28日（日）午後6時30分から名古屋市教育館（名古屋市中区）講堂にて、平成28年度名古屋市体育協会体育功労者表彰が行われ、名古屋柔道協会の推薦で、下山 太会員（笠寺）と榎本好根会員（大曽根）の2名が、「選手育成に顕著な功労のあった者」として表彰された。柔道分野からの被表彰者は両会員のみであった。

下山会員（左）と榎本会員

下山会員は「皆様のおかげで功労者表彰を頂けることになりました。ありがとうございます」、榎本会員は「皆様のおかげで今回のような賞を頂くことができました。今後とも精進して参りたいと思います」とそれぞれに受賞の感想を述べた。